

新型コロナウイルス感染症予防についての対応（日帰りプログラム）

東京 YMCA は、子どもたちから体験の機会が失われ、不安やストレスを抱える状況が長期化している中で、安全にのびのびと活動できる場を設け、心と身体の成長を支援していくため、以下の感染対策をとりながらプログラムを実施していきます。

▼体調管理・検温

- ・参加前に体調の確認を十分にご参加ください。
- ・検温を1週間前からお願いいたします。
- ・咳・のどの痛み・微熱、倦怠感、味覚・臭覚がない等の症状や少しでも体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
- ・発熱し熱が下がった日から4日以内においても参加をお控えください。また、熱が2日以上続いた場合は、医療機関からの参加の承諾を得るようお願いいたします。
- ・参加者本人または同居者が過去2週間以内に海外への渡航歴がある場合は参加をお控えください。
- ・慢性的な肺疾患（喘息を含む）、循環器、腎臓、肝臓、神経、血液もしくは消化器（糖尿病を含む）の疾患を持つ人（長い期間の治療を必要とし免疫力が低いとされる人）は参加をお控えください。

▼在校先または同居者で陽性者が出た場合

- ・濃厚接触者が特定されるまで、キャンプへの参加を控えてください。

▼スタッフ・リーダーの対応

- ・スタッフやリーダーの体調管理を徹底して行います。発熱及び風邪の症状がある場合は活動に参加いたしません。スタッフやリーダーの同居者に同じ症状がある場合も同様とします。
- ・スタッフやリーダーも、感染防止のためマスク・フェイスシールド等を着用します。
- ・全国的な傾向と参加者の居住地及び滞在地域の感染者数及び増減傾向の把握に努めます。またスタッフ間で適宜情報共有をします。

▼プログラム参加中

- ・毎日検温をします。
- ・手指消毒、マスクの着用をお願いします。キャンプ中、ソーシャルディスタンスが保てる場合、野外の活動等ではマスクを外す場合もごさいます。
- ・体調についてスタッフやリーダーとコミュニケーションをとり、早めの対応を心がけます。
- ・室内プログラムの場合は定期的な換気・消毒を行います。
- ・全体でのアナウンスは最低限にします。
- ・小規模グループに保ち「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの条件が発生しないように努めます。
- ・ご家庭でも「咳エチケット」、「むやみに手で口や顔などに触れない」、「至近距離での会話はさける」など感染予防をお子様ともご確認ください。

▼プログラムを中止にする場合

- ・感染拡大等による交通機関のサービス停止、その他の社会状況によって安全な実施が不可能と判断される場合は、プログラムを中止いたします。その場合は参加費の全額、プログラム開始後は未実施分をご返金いたします。

▼スタッフを含むプログラム参加者で陽性者が出た場合

- ・保健所などの指示に従って対応いたします。
- ・濃厚接触の疑いのある方へはお電話にてご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでのお知らせです。感染者が特定されないように個人情報には十分留意いたします。

▼プログラム参加後

- ・数日以内に新型コロナウイルス感染症の発症もしくは可能性がある症状がありましたら Y M C A までその旨、お知らせください。

※この「新型コロナウイルス感染症予防についての対応」は状況により内容の変更・追加も想定されます。その際は、YMCA よりお知らせいたします。一緒に感染予防に努めていきましょう。